

科目名 Course Name	発達と老化の理解 I Development and Aging I			ナンバリング No.	J1-015		
年次	1 年	期別	前期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	秋山巖						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは月・火・木・金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p><b>【授業全体の内容の概要】</b> 発達理論などの発達に関する内容を理解し、高齢者の加齢に伴う心身の状況の特徴に関する基礎的な知識の習得を図る。</p> <p><b>【到達目標】</b> ①発達理論(発達段階、発達課題)について知識を習得できるようにする。 ②高齢者の定義について知識を習得できるようにする。 ③加齢に伴う身体的な機能の低下について知識を習得できるようにする。 ④高齢者の病気の特徴について知識を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	講義が中心だが、高齢者疑似体験の演習を通し、高齢者の心理を理解する手段とする。またディスカッションや発表などを取り入れ他者の意見を聞いたり、自身で考える授業とする。						
学習成果	L01						
	L02	加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。					
	L03	発達理論をもとに発達段階を表でまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	教科書:最新・介護福祉士養成講座 第12巻「発達と老化の理解」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	<p>●目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。グループワークなどにも積極的に望んでほしい。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。		10		
レポート/作品	11 回目にレポート課題「今からできるロコモティブシンドロームを防ぐ生活習慣」を課す。S:定義・原因・予防策が明確に調べられ具体的に例示されている。			30	
発表					
小テスト	人間の成長と発達の基礎的知識、人間の発達段階と発達課題 発達理論、機能の発達について理解できている。		10		
試験	人間の成長と発達の基礎的知識、人間の発達段階と発達課題 発達理論、機能の発達、老年期の特徴と発達課題、老化に伴うこころからだの変化と生活、身体的な変化と生活への影響、心理的な変化と生活への			50	

		影響、社会的な変化と生活への影響について理解できている。			
その他					
<b>合 計</b>				20	80
	<b>回数</b>	<b>授業計画</b>			
1	<b>授業内容</b>	ガイダンス(シラバスに沿って授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 発達と老化について学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。成長・発達の考え方			
	<b>事前・事後学習</b>	発達と成長の違いを考え、ポイントを書き出す。			
2	<b>授業内容</b>	人間の成長と発達の基礎的知識 成長・発達の原則、成長・発達に影響する要因			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P7～P16 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
3	<b>授業内容</b>	人間の発達段階と発達課題① 発達理論、発達段階と発達課題			
	<b>事前・事後学習</b>	自身の母子手帳の成長のグラフとテキスト P29、30 のグラフを比べ、気づいた点を列挙する。			
4	<b>授業内容</b>	人間の発達段階と発達課題② 身体的機能の成長と発達、心理的機能の発達、社会機能の発達			
	<b>事前・事後学習</b>	自身の体重・身長を使い、カウプ指数、ローレル指数、BMI で評価する。			
5	<b>授業内容</b>	人間の発達段階と発達課題③ 発達段階別にみた特徴的な疾病や障害			
	<b>事前・事後学習</b>	小テストの範囲(第 1 回～第 4 回)の範囲の勉強。			
6	<b>授業内容</b>	(小テストと解説) 老年期の特徴と発達課題① 老年期の定義、老化とは			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P70～P79 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
7	<b>授業内容</b>	老年期の特徴と発達課題② 高齢者疑似体験【演習】			
	<b>事前・事後学習</b>	高齢者疑似体験から学んだことをまとめる。			
8	<b>授業内容</b>	老年期の特徴と発達課題③ 老年期の発達課題 【グループワーク】事例を通し、高齢者の心理を理解する			
	<b>事前・事後学習</b>	グループワークのまとめ。			
9	<b>授業内容</b>	老年期の特徴と発達課題④ 老年期をめぐる今日的課題			
	<b>事前・事後学習</b>	高齢者問題の記事を切り抜くかプリントアウトする。			
10	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活① 老化に伴う身体的な変化の特徴			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P141 1～13 番まで解く。			
11	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活② 老化に伴う身体機能の変化と生活への影響 (レポート 提出:13 回目)			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P141 14～30 番まで解く。			
12	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活③ 老化に伴う精神・心理機能の変化			
	<b>事前・事後学習</b>	レポート作成。			
13	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活④ 老化に伴う精神・心理機能の変化と生活への影響			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P163 記憶と知能の問題を解く。			
14	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活⑤ 老化に伴う社会機能の変化			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P163 適応機制の問題を解く。			
15	<b>授業内容</b>	老化に伴うところとからだの変化と生活⑥ 老化に伴う社会機能の変化と日常生活への影響			
	<b>事前・事後学習</b>	テキスト P185 問題を解く。			